



園庭の木々もすっかり緑濃くなりました。梅雨の合間の青空が見える日は、園庭で思い切り体を動かし、その後は砂場の感触を楽しみながら友だちと創作あそびをしています。また、鉄棒や縄跳びに挑戦

して“できた”喜びを嬉しそうに伝えに来てくれます。6月に入り子どもたちも自分のペースで生活が送れるようになってきました。緊張感もほぐれ「さあ やるぞ!」といった感じです。自分の好きなあそびを見つけ、毎日それにむかってとりかかっています。それと同時に友だちとのかかわりも深くなってきます。「○○ちゃんにあそびたい」という意思表示ができるようになってきました。このような発達段階にくると出てくるのが友だちとのトラブルです。【おもちゃの取り合い】…①自分の隣にあったものを使おうとしただけ。取ったつもりではなかったのにそれを使っていた子が怒ってしまう。②砂場のスコップの取り合い。「僕が先にとっていたのに」「僕が先にみつけてもっていたのに」などなど。

2才以下の子どもたちであればおもちゃの数を増やしてあげなければいけません。大きい子たちはこのようなトラブルが起きたときに、どのように解決していくかという対処の仕方を学ぶよい機会になります。友だちとぶつかる「たたいた」「たたかれた」ということも生じます。園としてもけがにならないように配慮してはいますが、間に合わないときもあります。そのようなときにはお互いの子どもたちに申し訳ないと思います。ただ、このようなぶつかり合いがあり、それを自分の問題としてとらえ、次どのようにしていったらいいのかという「考える場」が与えられたというとらえ方もできます。大人に守られすぎて、問題解決ができない子どもにはなって欲しくありません。保育園という子どもの社会でさまざまな問題に出くわし解決していく方法を身につけていくことこそ、この時期の大切な保育園の役割の一つと考えています。

4, 5才の子どもたちは、友だちのことやクラスの問題が起きると担任と一緒に問題の原因を追究し、解決方法を話し合います。

このような機会をつくることで子どもたちに自分で考える力が付いていくように思います。一つひとつの問題を大切に考えていきます。時には保護者の皆さんのと力を合わせないと解決できないこともあるかと思いますが、そのような時にはご協力をお願いいたします。



ささやまっこだより

6月号



令和3年6月1日
篠山保育園 園長 足立善一郎

6月の行事予定表

- 12日(土) 園内研究会
- 14日(月) 歯科検診、尿検査キット配付 (2歳児以上)
- 15日(火) 誕生会、尿検査回収
- 16日(水) 避難訓練
- 17日(木) プール遊び始まり

- 7、21日…えいごであそぼう(ばら組)
- 14、28日…えいごであそぼう(ふじ組)



緊急事態宣言が延長されましたので、先にお知らせしましたように、6月の保育参観は延期させていただきます。

「子どもの食べる量が気になるわ!」

子どもの成長とともに、親の悩みは尽きません。その一つが「食事の量」です。「うちの子、夕ごはんの時 ほんの少しつまみ食い程度にしか食べないんです!」。親は何とか食べさせたいと一生懸命になります。保育園の給食でも同じことがあります。そのような時、保育士は“少食でも元気に動き回っているか”、“食事の時楽しそうに食べているか”、“体を動かして遊んでいるか”という確認をします。特に問題がなければ、今現在その子の食べる量と判断し、ようすを見守ります。周りの大人が必死になって食べさせようとすると、萎縮してしまい食べるのが嫌になってしまいます。「食事は楽しいもの」、このことを大切にしておけば、時間とともに食事に関する問題は、解決の方向に進んでいくと思います。

はやく おおきな〜れ!

現在、ばら組さんは野菜づくり(ミニトマト、きゅうり、オクラ)を、ふじ組さんは“ひまわり”を育てています。種から芽が出て来た時の驚き、苗が日に日に伸びていき小さな実をつけた時の感動。これからの成長の過程で、天敵が現れたり、植物の生命力の強さに驚かされたりと様々な出来事が起きると思います。子どもたちは虫を飼った時と同じように植物に対してもちょっとした変化に気づき、大切に育てようと真剣そのものです。



ニコニコ おんがく隊

事務室隣のさくら組から、楽しそうな楽器の音が!のぞいてみると職員のギターに合わせて、太鼓や手作りマラカス、ギターなどを手に取り「トントン、シャカシャカ」と、こども音楽隊が演奏していました。“おもちゃのチャチャチャ”の曲が職員にリクエストされると、子どもたちは歌いながら思い思いに楽器を鳴らしています。楽譜なんてなくても、気持ちのままギターの音に合わせてようとしている姿や“とにかく音がなればたのしい!”と体を揺らしながらリズムをとっている姿がかわいかったです。



『えいごであそぼう』

年長ばら組さんと年中ふじ組さんは「えいごであそぼう」という時間があります。この活動は子どもたちに母国語以外の言語に触れ、いろんな国の人がいることを知る、「異国文化に触れる」取り組みです。「英会話教室のような勉強というとらえ方ではなく、“遊びの中で学びを”という、篠山保育園の方針の基、活動をしてもらっています。外国の先生方の明るくてユニークなオーバーアクションが子どもたちには刺激的のようです。



「ジョナサン先生」と「ダニエル先生」に来ていただいています。

どどんこ ドン!

4月から始まったばら組さんの日本太鼓。年長さんになるとやっと触れることができるのです。“あいさつの仕方”や“約束事”を守りながらの活動です。先日グループと自分が担当する太鼓が決まり、はりきって練習に励んでいます。今は、自分が叩いている太鼓の音に酔っている状態で、友だちの音に合わせてようとする気持ちは半分くらいしかありませんが、練習をしていく中で、偶然に音が“ピタッ”と合う時があります。その気持ちよい感覚を味わうと、音をあわせようとする意識が芽生えてきます。これから気長に練習していきたいと思っています。

